

(令和元年 10 月試験研究業務月報)

試験研究課題名：賀茂ナスの果実光沢の定量的評価手法の確立（F S 研究）

研 究

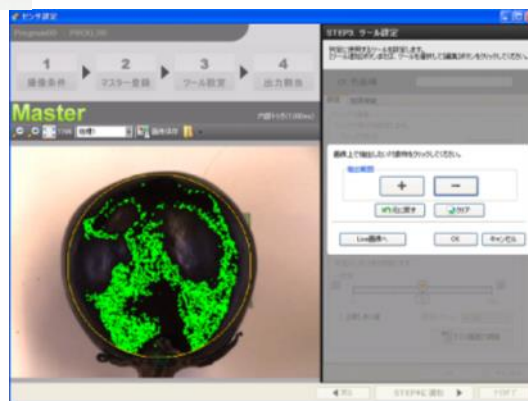
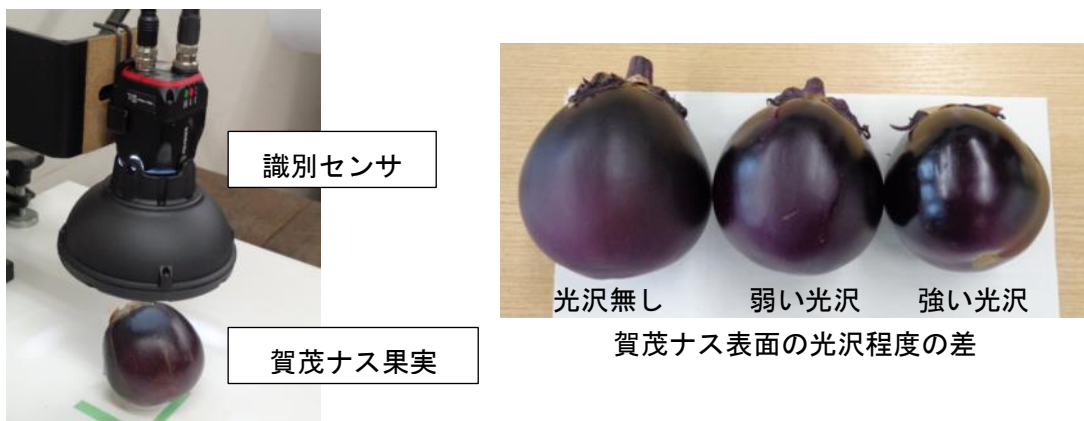
「賀茂ナス」の光沢度を客観的に評価する手法の開発

賀茂ナス産地では目視により光沢を評価していますが、選果時の精度や効率の向上には客観的な評価方法の導入が必要です。

当センターではこれまで光沢を数値化するために、光の反射強度を波長ごとに調べてきましたが、測定できる範囲が狭いなど問題がありました。

そこで今回は、色や形を識別するセンサを利用してナス果実の画像を解析したところ、画像に映る範囲内で光沢が強い部分を識別することができました。

今後は光沢を識別できる範囲を果実全体に広げ、光沢部分の面積比率を正確に測定できる画像の解析方法を検討し、新たな評価基準の設定を目指します。



センサの解析画面

画像上の丸部分が解析範囲、

塗りつぶされている部分がセンサが識別した光沢部分

農 林 セ ン タ ー